

質問

40代の女性で、乳がんと診断され治療中です。医師の丁寧な説明で病状や治療方針は理解していますが、ときどき漠然とした不安に襲われます。同じ経験をした人と話をしたいのですが、身近にいません。どこに相談すればいいでしょうか。

ピアサポーター



榊原 陽子
県健康寿命
推進課係長

回答

がんの告知を受ける時、これまでの日常を一変させるほどの大きな衝撃を受けると思います。治療と向き合う日々の中で、「この先どうなるんだろう」と家族にも言えない不安を抱える方は少なくありません。そんな時、困りごとや悩みを分かち合える相談相手として力になってくれるのが、がんの「ピアサポーター」です。ピアとは「仲間」という意味で、ピアサポーターはがんを経験したり、がんになった家族を支えたりした人です。コミュニケーションセッション技術、プライバシー保護などの専門的な研修を受けており、自身の経験を生かして患者さんの声に耳を傾けます。

闘病経験者が相談相手



「仕事との両立はどうしたのか」「ウイッグの選び方は」といった仕事や家族との向き合い方、治療中の生活の工夫など、経験者ならではの視点でアドバイスをしてく



患者交流会や病院で紹介

25年度からは徳島大学病院や県立中央病院など5カ所のがん診療連携拠点病院にピアサポーターを派遣する取り組みを開始しています。相談を希望する場合は、拠点病院内にあるがん相談支援センターや徳島がん対策センターに問い合わせてください。性別や年代、がんの種類など、できるだけ希望に沿ったピアサポーターとつながります。気軽に相談ください。

がん何でもクイズ

日本で1年間に新たにがんと診断される人数と、徳島県の人口(約68万人)はどちらが多いでしょうか。
①日本で1年間に新たにがんと診断される人数 ②徳島県の人口

行こうよ！がん検診

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442

(平日午前
8時半から
午後5時まで)
へ。



す。

県は2011年度からピアサポーターを養成しており、これまでに県内で39人が研修を受講しています。主に病院や患者会が定期的に開いている交流会などで相談を受けしており、患者さんや家族らを受けて数人のグループで語り合っています。県も今月19日に女性の患者を対象にした「がんサロン」を徳島市の東部防災館おきのすいんどアパークで開きました。